



▲旧横雲橋完成を祝って明治時代に始められた「横祭」以来90年ぶりの復活となる花火大会では明治16年の花火番付表から10発を再現するなど155発が次々と打上げられ、最高潮に盛り上がった大祭のフィナーレを飾りました (撮影 本間一人さん)



▲村の農畜産物、企業展、屋台、姉妹村美浦村コーナーなどが並び人出で賑う



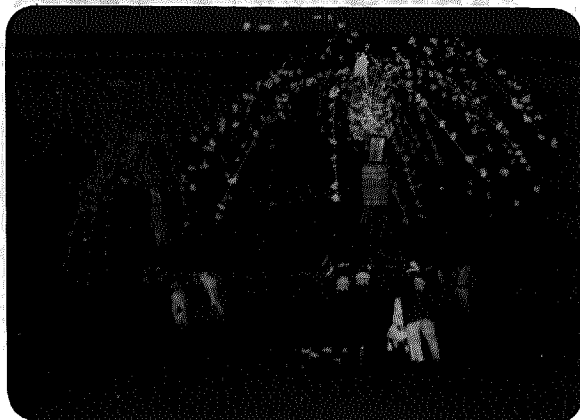
▲美浦村のエビ釜揚げの実演も行われ人気を呼んでいました



▲勇壮で華麗な太鼓に観客は魅了されました (雨のため横小体育館で実施)



▲思い思いの趣向を凝らした仮装盆踊りの輪は、大きな輪となり踊る人、見る人も心一つとなり盛り上がりました



▲横越上・横越中地区で40年ぶりに復活された勇壮な徳まとも披露されました

### 協賛御礼

横越大祭協賛会に加入していただきました方々を、大祭のチラシや花火大会プログラムで紹介させていただきます。新栄信用組合横越支店、伊藤鉄工(株)、第一建設工業(株)新津営業所様からも協賛をいただきました。この紙面を借りて御礼申し上げます。

横越大祭実行委員会  
横越大祭協賛会

# 初めての横越大祭

## 多彩なイベントに人があふれる



▲オープニングセレモニーでは、浅見村長、野村協賛会会長はじめ多くの来賓に加え姉妹村の市川美浦村長も出席してテープカットが行われ華やかに大祭ははじまりました



▲野趣たっぷり豪快な牛の丸焼き こうばしい香りが漂い美味しい肉に舌鼓を打つ



▲ピコピコハンマーゲームに挑戦



▲子供たちに人気が高かったエアートランポリンフワフワキッド 長い行列ができました

豊かな自然と住みよい環境、人と人との心のふれあいをめざし、村民が一堂に会し楽しむもの、という村民の声をもとに生まれた横越大祭が、十月十三・十四の二日間行われ、村民や近郷から大勢の人たちが詰めかけ大変な盛り上がりを見せました。

大祭初日からあいにくの雨模様となり、河川ステイジがやむなく横越小体育館に変更されたほかは計画どおりに実行することができ、人の出足も心配されたものの大祭広場

となった横越小グラウンドや周辺道路で繰り広げられた、オラが自慢の郷土芸能の競演、村あげての仮装盆踊り大会、村の誇る農畜産物の展示即売、村内各社の企業展、はるばる茨城県から馳せ参じてくれた姉妹村美浦村特産の即売など、多彩なイベント会場はどこも人の波、人の群れで賑わいました。

横越大祭のフィナーレをかざる大花火大会では、木津工業団地連絡協議会をはじめ村内企業や村民等多数の申し込

みと相まって創生資金で用意された一五五発が次々に夜空を飾り川面を美しく照らしました。この花火を一目見ようと村内をはじめ近郷から大勢の人たちが詰めかけ、川沿いを埋め尽くした観衆から大きなどよめきや歓声が上がりました。祭りはクライマックスを迎えました。

村民のみなさんのご協力により、雨のなかにも村がもえる村民の心がひとつとなり、横越大祭は大成功に終わりました。